

# 2年学年だより

根上中学校第2学年 学年通信

平成30年6月13日(水)

No.18

## 和田山相撲大会へ行って ～part 2～

### 「すもう部を通して」

すもうの練習・大会を終えて、ぼくはとてもいい経験をすることができました。練習では、仲間と協力して、心身ともにきたえることができました。また、みんなで声を出して楽しく練習することができたし、仲間の大切さが改めて分かりました。大会では、団体戦は3位で自分は1勝1敗でした。個人戦ではベスト8でした。自分は、目立った成績をとることができなかったけど、気持ちを出して、思い切り相手にぶつかることができました。また、最後まですもうを楽しめたし、悔いのない試合ができたと思います。このすもう部での経験を大切にして、部活動に生かしていきたいです。



### 「心が1つになった」

私は、すもうがどんな風にやるのかあまりイメージが付きませんでした。しかし、実際にやっているのを見ると、とても熱くてみんな本気で「勝つぞ!」という感じでした。すごい感動しました。私はとても良いものを見られたなと思うことが出来ました。試合の後半になるにつれての盛り上がりはスポーツならではの事かなと思いました。2年の個人では、私は勝ってほしい、優勝してほしいと心から願いました。皆も願っているのか、応援の声はどんどん大きく、選手が勝ち上がっていきたび盛り上がりました。私は特に皆の「勝って!」という思いに、選手たちが「勝つぞ!」と言って目や空気で応えてくれているような気がしてもっと応援に力が入りました。そして、これが「皆の心が1つになる」という事なんだなあとと思いました。それにとっても感動しました。小酒さんは個人で優勝し、皆の思いをかなえてくれたなあとうれしくなりました。

### 「相撲大会の感想」

昨日相撲大会がありました。僕は大会の前日からとても楽しみな気持ちでした。当日は自転車で和田山相撲場まで行きました。暑くてとても疲れました。根上中を含め、四つの中学校の人が集まりました。相撲は山の中にある深い溝のような所で行われ、偉そうな人がたくさん来ていて少し予想外でした。相撲大会が始まり、どの中学校も頑張っていて応援していたので僕も全力で応援しました。まず一年生団体の戦いがあり、その後二年団体、一年個人、二年個人の順で行われました。相撲は一試合ごとに白熱し、一瞬で勝負が決まるものや、土俵際で耐えた後の逆転、それに持ち上げて土俵の外に出すなどの作戦的な戦法も多く見られとても楽しかったです。また、知っている人が戦っている時はとてもドキドキしました。そしてその人が勝つと本当に嬉しくて感動しました。全選手が全力を出し切っていたのでとても素晴らしい相撲大会になったと思うし、戦没者の方々も天国で喜んでいるような気がしました。本当に良い一日でした。

### 「すもうでの思い」

僕は、すもう部のキャプテンとして出て、1年生、2年生をひっぱれたと思います。練習は2年、1年関係なく大きな声を出し、たのしく、元気に練習できたので良かったです。試合の時は、2年生がとても大きな声を出し、おうえんしてくれたのでうれしかったし、もっとがんばろうと思いました。結果は、2年2組の小酒さんが個人1位で、団体はおしくも3位だったけど、みんな笑顔で試合をしていていいと思った。チームで協力してがんばれたので、キャプテンとしてよかったと思います。

